

n002030 春牧区 岳参り

概要 適用



n002030001) 岳参り風景



n002030002
早朝海砂を採る



n002030003
海水も汲む



n002030004
服を正し一揖



n002030005
加護を祈る



n002030006
お供え物の受領



n002030007
海砂・海水・榊等

【概要】

・岳参りは、岳の神様(一品法寿権現)に詣でる島内各集落で行われる山参り行事で、一時下火になっていたが近年各地区で活発になってきている。
 ・組織的に行われる山岳信仰としては日本の最南にあたる。
 ・春牧の岳参りも長らく途絶えていた様だが、〇〇年に登山道と共に復活、以降は毎年行われており、区事務所には「岳参りマニュアル」なる物も存在し、それには以下の手順が丁寧に書き記されており、これは今後も受け継がれてゆくものと思われる。

- 1・海水と海砂の準備
- 2・盛久神社参拝・その手順
- 3・前岳登山口における作法手順
- 4・山頂・祠における作法手順
- 5・下山口にて
- 6・盛久神社にておける参拝手順

2015{平成27年}9月23日の記録

- 6:00 区長が動物の足跡のないうちの春田浜に砂と海水を取りに行く
- 9:00 盛久神社にお参りのメンバーが集合、しきたり通りに参拝をする。車に乗り合わせて登山口へ。生憎の雨。
- 9:35 登山口でお清めを済ませ、登山開始
- 11:10 全員登頂。雨。神事を開始する。
- 11:40 本来昼食後に下山だが、雨なので下山開始
- 13:00 全員無事下山 記念撮影
- 13:30 盛久神社に帰還、お参りののち解散。

【写真】



n002030008
登山口に米を盛り、撒く



n002030009
最初の渡渉点



n002030010
最初の渡渉点別角度



n002030011
登山風景1



n002030012
登山風景2



n002030013
登山風景 3



n002030014
登山風景4



n002030015
山頂にて蠟燭を灯し、清める



n002030016
二礼二拍手



n002030017
お供え物をし、祈願



n002030018
供えられていた古銭



n002030019
山頂の祠

n002030001 メイン岳参り風景
n002030002 夜明け前、動物の足跡のついていない砂浜の砂を取りに行く区長。
n002030003 海水も汲む。竹の筒に入れてゆく。
n002030004 服を正し一揖。参道の正中{真ん中・神の通り道}を避けて入場。
n002030005 賽銭を入れ、金を鳴らし、二礼二拍手、手を合わせ加護を祈る。
n002030006 お供え物の受領米・酒・塩・お賽銭・奉札
n002030007 お供え物の受領 海砂・海水・榊・ろうそく等
n002030008 登山口に米を盛り、撒く。塩も。参加者を清める。
n002030009 最初の渡渉点。
n002030010 最初の渡渉点別角度
n002030011 登山風景1
n002030012 登山風景2
n002030013 登山風景 3
n002030014 登山風景4
n002030015 山頂の祠を清掃し、蠟燭を灯し、米・海水・砂を撒き、盛る。
n002030016 二礼二拍手、前年度分の賽銭の撤去
n002030017 本年度分のお供え物をし、祈願。そして、下山。
n002030018 供えられていた古銭が歴史を語る。
n002030019 山頂の祠
n002030020 登山道脇の炭焼き釜
n002030021 記念撮影
n002030022 盛久神社でお参り
n002030023 酒迎はご自宅で、とビールが配られる。



n002030020

登山道脇の炭焼き釜



n002030021

記念撮影



n002030022

盛久神社でお参り



n002030023

酒迎はご自宅で